

# 学校だより

明るく 元気に たくましく

広島市立広島特別支援学校

校長 中尾 秀行

TEL 082-250-7101

FAX 082-250-7102

平成27年2月27日発行

E-mail : [yougo-s@e.city.hiroshima.jp](mailto:yougo-s@e.city.hiroshima.jp)

ホームページ : <http://www.hiroshimayogo.edu.city.hiroshima.jp/>



つぼみが膨らんできた正門付近の桜

## □ はじめに

日ごとに温かさを感じるようになり、正門付近の桜もつぼみが膨らんできて春の訪れを告げています。3学期も残り少なくなってきました。現在、各学年とも進級、卒業に向けての取組を行っています。学習指導要領における特別活動の儀式行事の内容には「学校生活に有意義な変化や折り目を付け、厳粛で清新な気分を味わい、新しい生活の展開への動機付けとなるような活動を行うこと」とあります。修了式、卒業証書授与式では、この内容を踏まえて、児童生徒がお互いに祝い励ましあって喜びを共にし、決意を新たに新しい生活への希望や意欲をもてるように取り組んでいきたいと思っています。特に卒業は人生の大きな節目です。卒業学年の児童生徒には、一日一日を大切にしてほしいと思います。3月10日（火）には高等部、3月13日（金）には小・中部の卒業証書授与式を挙行します。是非、多くの皆様にご出席いただき、卒業生を祝福していただきたいと思います。

## □ 小学部高学年感動体験

1月30日（金）歌手で中村学園大学非常勤講師 坂井里衣 様 ピアノ伴奏 上野志保 様をお招きして小学部第4学年、第5学年、第6学年で感動体験事業「すてきなコンサート」を行いました。歌に合わせて児童が体を動かしたりするような活動を取り入れていただいたり、児童のよく知っている曲やミュージカルの名曲やオペラのアリア等を聴かせていただきました。児童は体を動かす活動で体を動かして楽しんだり、演奏を聴いて自然に体を動かしたりしていましたが、コロラトゥーラといって装飾音がたくさん付いた技巧的なメロディーの曲や、朗々としたメロディーの曲を美しい澄んだ歌声で聴かせいただいた際は、体の動きを止めてうっとりとして聴き入っていました。優れた演奏を目の前で聴かせていただき、児童の心の中に演奏が染み入っているようでした。このような体験を積み重ね、豊かな感性を磨いてほしいと願っています。



お礼を述べる児童

## □ 高等部入学者選考と小・中部部入学調査



高等部入学者選考の様子

2月3日（火）、高等部普通科の入学者選考、2月4日（水）、高等部普通科の入学者選考を実施しました。当日は普通科で欠席がありましたが、後日受検した生徒を含め、普通科74名、職業コース24名、計98名が受検しました。受検者は、皆、中学校や中部部で学んできたことを緊張しながらも、精一杯発揮しようと真剣に受検に取り組んでいました。合格者は、職業コース16名、普通科82名です。本校入学者には、高等部入学説明会を3月25日（水）に実施します。

2月18日（水）小・中部部入学調査を実施しました。当日の欠席はありましたが、後日入学調査を行い最終的には、小学部は26名、中部部は21名の入学調査を行いました。児童生徒の活動の様子や保護者の方との面談から、児童生徒の実態把握をするともに、医療的ケア、アレルギーに関する事項、給食の食形態等について、保護者の方から配慮事項をお聞きしました。中部部第1学年は本校からの進学する16名を加え37名となります。

小・中部部の入学式は、4月7日（火）、高等部の入学式は、4月8日（水）です。新1年生の児童生徒が安心して本校に入学できるよう、準備をしていきます。本校を選んでいただいた児童生徒、保護者の皆様の期待に応えられるよう、更に教育内容の充実を図ってまいります。



小・中部部入学調査の様子

## □ 学校保健委員会

2月12日（木）第2回学校保健委員会を行いました。本年度の学校保健関係行事について、学校医・学校歯科医・学校薬剤師による診断、相談及び指導助言事項、学校給食の実際及び食育の取組、生きる力をはぐくむ歯・口の健康づくり推進事業、平成27年度の学校保健行事計画について協議を行い、学校医、学校歯科医、学校薬剤師の先生方から指導・助言をいただきました。また、学校医の福原宏平先生から「少年期のスポーツ障害」についての講話をいただきました。これらのことは保健だより等で御紹介をしていきたいと考えています。



学校保健委員会の様子

## □ 小学部低学年学習発表会

2月13日(金)小学部低学年の学習発表会を行いました。昨年度までは低学年全体で行っていましたが、本年度は児童数が増えたこともあり第1学年は学年のみで、第2学年、第3学年は合同で発表会を行いました。第1学年は『いいこといっぱい1年生』、第2学年は、『おむすびころりん』、第3学年は、『かさじぞう』の発表でした。どの学年の児童も一人一人が活動を楽しみながら主体的に課題に取り組み「やったー!」という達成感を味わっていました。また、友達の発表もマナーよく見て応援することができていました。取組の中で活動を見通す力や自己をコントロールする力が高まり、暖かい雰囲気の中で友達や先生に認められ、保護者の方からも声援や大きな拍手をいただいたことは大きな自信となり、自己肯定感・自己有能感も高まったのではないかと感じています。このような良質な経験を積み重ね、主体性をもって豊かに生きる力の基礎を積み上げてほしいと願っています。



小学部第1学年の学習発表の様子



小学部第2学年の学習発表の様子



小学部第3学年の学習発表の様子

## □ 国立特別支援教育総合研究所 大崎 博史 先生 学校視察

2月12日(木)独立行政国立特別支援教育総合研究所 教育研修・事業部 主任研究員 大崎博史 先生が本校を視察されました。視察の目的は「重度・重複障害のある児童生徒の探索活動を促すための環境設定に関する情報収集調査」で、本校の授業の様子を参観されたり、施設・設備等を視察されたりしました。先生はI S N A日本支部全日本スヌーズレン研究会理事でもあり、本校のように「静」と「動」の2種類のスヌーズレン・ルームを備えている施設は日本にはほとんどなく、また、スヌーズレン・ルーム内の設備も大変充実しており、日本有数の施設であるとお褒めの言葉をいただきました。スヌーズレン・ルームの活用については、自立活動の「環境の把握」や「身体の動き」等の観点で児童生徒の変容を捉え、適切な評価をしていくことで、更に指導の充実が図れるのではないかと御助言をいただきました。今後の活用について大変参考になりました。ありがとうございました。



スヌーズレン・ルームを視察される大崎先生

### ※ スヌーズレンとは(日本スヌーズレン協会のHPより)

○ 障害の重い人たちが、感覚に直接訴える刺激を通して外界を知り、楽しむ、という見解から、柔らかく、優しく、光、音、におい、振動、温度、触覚の素材等いろいろな感覚を刺激する機器を備えた空間のことで、介助者は障害がある人の自発性とペースを大切に、体験を共有します。

## □ 高等部生徒就職支援連携会議、地域生活・就労支援ネットワーク会

2月19日(木)には、高等部の生徒の企業就労に関する課題の検討、情報交換を目的に、高等部生徒就職支援連携会議を実施しました。参加いただいた機関は、広島公共職業安定所、広島東公共職業安定所、広島障害者職業センター、広島県就労振興センター、広島障害者就業・生活支援センター、広島市教育委員会特別支援教育課で、本校の生徒の就労に関して多くの方が熱心に話し合ってくださいました。進路選択する上で就労に対する生徒自身の希望を見極める大切さや、長く定着していくために、生徒のできることで、できないことを把握してどのような仕事か本人に合っているかを知ること、また、職場の環境に変化があり本人が困り感をもった際、各機関と連携して対応していくことの大切さ等、貴重な意見をいただきました。今後、これらのことを、就職支援に生かしていきたいと考えています。



地域生活・就労支援ネットワーク会の様子

2月25(水)には、地域生活・就労支援ネットワーク会を実施し、7月に実施した生活支援相談会の相談内容、高等部第3学年の進路状況等について説明を行いました。参加していただいた方々は、第一もみじ作業所、きつき共同作業所、おりづる作業所、森の工房みみずく、広島市手をつなぐ育成会 いくせい、広島市こども療育センター地域支援室、もみじ障害者生活支援センターめーぷる、相談支援事業所 光清学園、特別支援教育課、PTA会長・副会長・進路部長の方々です。生活支援相談会については、生活支援相談会後の取組状況や、卒業後の施設利用のためのサービス等利用計画案の作成の流れ、就労支援B型を利用するためのアセス

メント実習の現状などについて交流し、御意見をいただきました。関係者の皆様、ありがとうございました。今後ともより一層の御支援をお願いします。